

既存試料使用に関する配慮に関して（生検筋使用時）

2017年1月27日

名古屋大学大学院医学系研究科神経内科

勝野 雅央

対象研究名：「ポリグルタミン病における伝播病態性の解明」

本研究の実施にあたり、既存の検体を、新たに同意取得をしない上で使用します。その際、以下の様に情報を公開します。

当該研究の意義、目的、方法

神経や筋肉の病気（以下、神経筋疾患）は、運動ニューロン疾患、炎症性筋疾患、筋ジストロフィー、先天性ミオパチー、代謝性筋疾患、ミトコンドリア病、末梢神経炎など多岐に渡ります。神経筋疾患を診断する上で筋生検は非常に有用な検査です。筋生検により採取された筋肉は、顕微鏡での検査などをするために一部を切り出して標本にし、場合によりさらに詳しく遺伝子、RNA、タンパク質などを調べたりすることがあります。残った筋肉は冷凍庫に保管しており、保存状態が良い場合、将来の研究のための貴重な資源として使用することが可能です。

神経筋疾患の研究領域は、顕微鏡でわかる異常に関する研究は非常に進歩してきていますが、一方で病気を引き起こす原因は十分に解明されていません。今回私たちは、保管されている筋肉検体を用いて、水泡様物質エキソソームの解析研究を通じて、運動ニューロン疾患の一つである球脊髄性筋萎縮症の発病や進行の機序を明らかにし、治療法の開発へつなげていきたいと考えています。

本研究では1996年4月1日から本研究開始までの期間に既に実施した筋生検の検体試料を対象とします。対象の方に新たに処置を行うことはありません。

対象者の選択基準

1996年4月1日以降に神経筋疾患が疑われ、診断のために筋生検を施行した方

利用する検体

以下のものを利用いたします。

- 凍結生検筋
- 臨床情報：診療録（病歴、家族歴、診察所見、運動機能など）、検査結果（血液検査、尿検査、放射線画像、生理検査）
- 球脊髄性筋萎縮症と遺伝子検査で診断された方の場合、アンドロゲン受容体の遺伝子情報

※球脊髄性筋萎縮症と診断されていない方は、遺伝子情報の収集は行いません。

研究機関名

名古屋大学大学院医学系研究科神経内科

保有する個人情報に関して、お問い合わせいただくための手段について

本研究で保有する個人情報に関して問い合わせできるよう、本研究に関する内容、実施者、問い合わせ方法、問い合わせ先について名古屋大学医学部ホームページ内に掲載します。個人情報に関する問い合わせや個人情報の訂正、利用停止、第三者への提供の中止を求められた場合、被験者本人あるいは代理人であることを確認し、速やかに対応します。

個人情報の開示、個人情報の利用目的の問い合わせについて

本研究で保有する個人情報に関して、被験者及びその代理人は、個人情報の開示請求や、その利用目的を知ることができます。ただし第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害する恐れがある場合や、当該研究にかかる研究者等の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼす恐れがある場合、法令に違反する場合などは例外となります。上記理由にて、個人情報の開示依頼をお断りする際には、その理由をお伝えいたします。

保有する個人情報に関して、問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

問い合わせ先：

名古屋大学医学部 神経内科 052-744-2391

同 経営企画課 052-744-2479

既存試料使用に関する配慮に関して（剖検臓器使用時）

2017年1月27日

名古屋大学大学院医学系研究科神経内科

勝野 雅央

対象研究名：「ポリグルタミン病における伝播病態性の解明」

本研究の実施にあたり、既存の検体を、新たに同意取得をしない上で使用します。その際、以下の様に情報を公開します。

当該研究の意義、目的、方法

神経や筋肉の病気（以下、神経変性疾患、神経筋疾患）は、脳血管障害、認知症、アルツハイマー病、パーキンソン病、運動ニューロン疾患、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、末梢神経炎、筋ジストロフィーなど多岐に渡ります。不幸にして、こうした疾患のために亡くなられた方に対して、主に診断の妥当性や治療効果を調べる目的に病理解剖が行われることがあります。病理解剖により様々な臓器（以下、剖検臓器）は、顕微鏡での検査などをするために一部を切り出して標本にし、場合によりさらに詳しく遺伝子、RNA、タンパク質などを調べたりすることがあります。残った剖検臓器の一部は冷凍庫やホルマリン内などに保管しており、保存状態が良い場合、将来の研究のための貴重な資源として使用することが可能です。

神経変性疾患や神経筋疾患の研究領域は、顕微鏡で分かる異常に関する研究は非常に進歩してきていますが、一方で病気を引き起こす原因は十分に解明されていません。今回私たちは、凍結保管されている剖検臓器を用いて、水泡様物質エキソソームの解析研究を通じて、運動ニューロン疾患の一つである球脊髄性筋萎縮症の発病や進行の機序を明らかにし、治療法の開発へつなげていきたいと考えています。

本研究では1996年4月1日から本研究開始までの期間に既に実施した剖検臓器の検体試料を対象とします。

対象者の選択基準

1996年4月1日以降に病理解剖された方

利用する検体（情報）

以下のものを利用いたします。

- 凍結脳、脊髄、筋肉
- 臨床情報：診療録（病歴、家族歴、診察所見、運動機能など）、検査結果（血液検査、尿検査、放射線画像、生理検査）

■ 球脊髄性筋萎縮症と遺伝子検査で診断された方の場合、アンドロゲン受容体の遺伝子情報

※球脊髄性筋萎縮症と診断されていない方は、遺伝子情報の収集は行いません。

研究機関名

名古屋大学大学院医学系研究科神経内科

保有する個人情報に関して、お問い合わせいただくための手段について

本研究で保有する個人情報に関して問い合わせできるよう、本研究に関する内容、実施者、問い合わせ方法、問い合わせ先について名古屋大学医学部ホームページ内に掲載します。個人情報に関する問い合わせや個人情報の訂正、利用停止、第三者への提供の中止を求められた場合、被験者の代理人であることを確認し、速やかに対応します。

個人情報の開示、個人情報の利用目的の問い合わせについて

本研究で保有する個人情報に関して、被験者の代理人は、個人情報の開示請求や、その利用目的を知ることができます。ただし第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害する恐れがある場合や、当該研究にかかる研究者等の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼす恐れがある場合、法令に違反する場合などは例外となります。上記理由にて、個人情報の開示依頼をお断りする際には、その理由をお伝えいたします。

保有する個人情報に関して、問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

問い合わせ先：

名古屋大学医学部 神経内科 052-744-2391

同 経営企画課 052-744-2479